

目 次

研究論文

音楽教育学における質的研究と量的研究の対立と共存	1
— 英国の現状と我が国への示唆 —	

広島大学 高 須 一

19世紀アメリカにおける学校音楽教育研究 (XX)	12
— ウッドブリッジのペスタロッツ観と唱歌教育論 —	

鳴門教育大学 長 島 真 人

反 論

第30回大会プロジェクト研究C	24
「音楽教育史研究の再検討」への疑問	

宮城県米谷工業高等学校 鈴 木 治

報 告

ISME 第24回世界大会 (カナダ, エドモントン大会) 報告

改革か改悪か----ISME Strategic Plan 2000-2002をめぐる	27
---	----

ISME (新)理事 愛知教育大学 村 尾 忠 廣

転機を迎えた ISME	31
-------------	----

ISME (前)理事 岡山大学 三 好 恒 明

ISME の公式言語と日本の「英語第二公用語論」	35
--------------------------	----

和歌山大学 奥 忍

ISME2000「教員教育ワークショップ」を行って	37
---------------------------	----

宮城教育大学 降 矢 美 彌 子

ISME2000ワークショップ	39
-----------------	----

高知大学 坪 能 由 紀 子

第 4 回 国際音楽教育哲学シンポジウム報告	40
------------------------	----

上越教育大学 小 川 昌 文

例会報告	44
------	----

日本音楽教育学会編集委員会規定	50
-----------------	----

「音楽教育学」投稿規定	51
-------------	----

大会発表・応募論文要旨様式	55
---------------	----

編 集 委 員